



水車場跡、水の力を夢みて



ミニシンポジウム

神戸歴史遺産に認定された住吉川上流左岸八輮場・五輮場は、サポーター等の笹刈り調査によって徐々にその姿が明らかになってきました。

現在の状況を参考に、大阪工業大学の前川氏が卒業制作として活用例の模型を制作されました。その報告を聞き、かつてこの場所で小水力発電事業の立案をされた古谷氏、近代建築活用の立場から白数氏、地エネ事業の観点から辻本氏のコメントをいただき、ミニシンポジウムを企画しました。

会として模型の実現を目指すということではありませんが、詳細な模型を前に、水の力とその活用について語る機会とします。

■ 基調報告 「八輮めぐらひ」

【プレゼンター】 前川 晴貴 氏

(大阪工業大学大学院工学研究科建築・都市デザイン工学専攻)

■ 意見交換

【コメンテーター】

白数 夏生 氏 (大阪公立大学大学院工学研究科博士後期課程)

古谷 桂信 氏 (元高知小水力利用推進協議会事務局長)

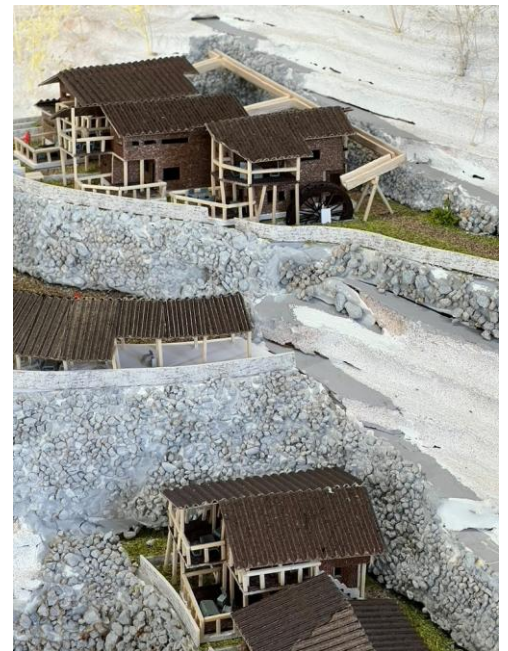
辻本 一好 氏 (神戸新聞社経営企画局専任部長 編集委員)

【コーディネーター】

千種 浩 氏 (当会アドバイザー)



住吉川左岸八輮場水車場跡
「水車のひろば」



前川氏制作模型 (一部)

【日時】 2026年6月13日(土) 13:30~16:00

【会場】 神戸市立御影公会堂 301・302

(神戸市東灘区御影石町4丁目4番1号)

阪神石屋川駅より北へ徒歩5分

【参加費】 500円

(水車の会サポーター 300円)

どなたでも参加できます

【申込み】 右の二次元コードから⇒



【定員】 50人(先着順)

【〆切】 6月6日(土) (定員になり次第〆切)

【問合せ】 suisyanokai.kobe@gmail.com

【主催】 水車を未来につなぐ会

【後援】 神戸市東灘区(申請中)

